

第4回 幼稚園再編に係る地域協議会(壱分幼稚園)

日 時： 令和3年7月19日(月)

午後3時から

場 所： 壱分幼稚園リズム室

次 第

1 こども園化のシミュレーション

2 「幼稚園再編・こども園化についての意見書」について

配布資料

【資料1】 こども園化のシミュレーション

【資料2】 再編についての意見書の提出について(案)

なばた幼稚園・壱分幼稚園

こども園化のシミュレーション

令和3年7月 8日 なばた幼稚園地域協議会

令和3年7月19日 壱分幼稚園地域協議会

現状と課題

○公立幼稚園の園児数の減少に伴い、少人数の園では、集団の中で多様な考え方にふれ、試行錯誤する機会が少なくなりやすく、人間関係においても固定化しやすくなる傾向にある。

幼児が互いに関わりを深めながら集団での活動を展開し、協調性を身につけるためには、幼稚園における統合やこども園化による園児数の確保が必要

(「今後の生駒市立幼稚園のあり方について」)

○公立幼稚園での「預かり保育」事業、ご利用者の増加
R3年度から、夏休み期間中も実施

利用実態に即した体制づくりが必要

再編しこども園化

生駒市の子どもの人口

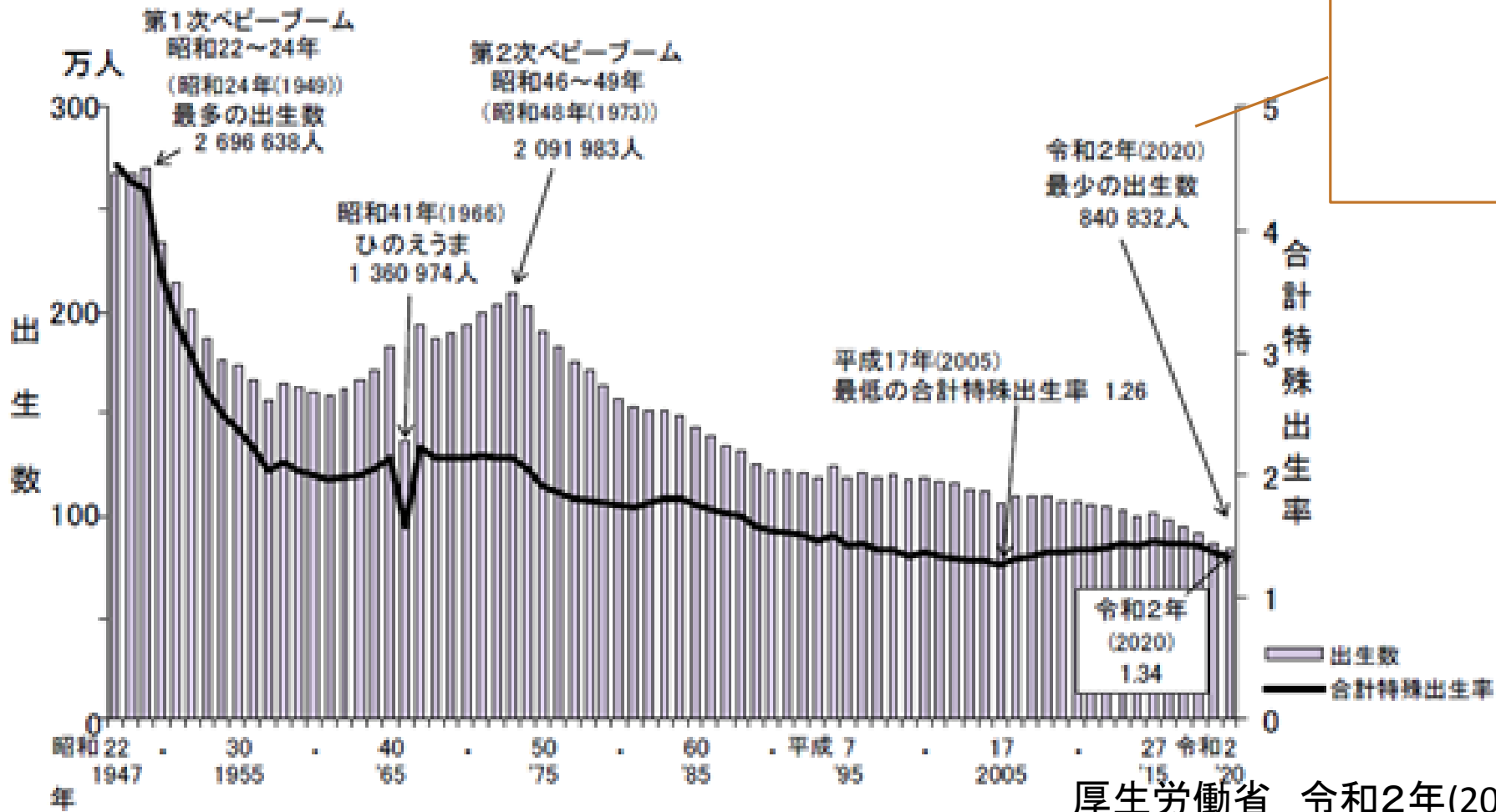
令和3年4月1日現在(人)

年齢	男	女	合計
0歳	340	331	671
1歳	422	396	818
2歳	461	437	898
3歳	462	408	870
4歳	530	483	1,013
5歳	563	507	1,070
6歳	539	510	1,049

2,387人

2,953人

図1 出生数及び合計特殊出生率の年次推移



令和2年(2020)
最少の出生数
840,832人

前年(R元年)の
865,239人より
24,407人減少

園児数推計

R4年度3歳児以降は、R元年に行った推計

年度	園名	3歳児		4歳児		5歳児		小計	合計
R2	なばた	11	42	23	52	18	54	52	148
	壺分	31		29		36		96	
R3	なばた	15	32	12	43	22	55	49	130
	壺分	17		31		33		81	
R4	なばた	18	43	15	32	12	43	45	118
	壺分	25		17		31		73	
R5	なばた	18	42	18	43	15	32	51	117
	壺分	24		25		17		66	
R6	なばた	16	38	16	38	18	43	50	119
	壺分	22		22		25		69	
R7	なばた	16	38	16	38	16	38	48	114
	壺分	22		22		22		66	

園児数推計の算出の方法

- 1 令和3年度までは、実績数(5月1日時点の在籍園児数)
- 2 令和4年度 5歳児数 令和3年度の4歳児数
4歳児数 令和3年度の3歳児数
3歳児数 令和元年度の2歳児の人口に就園率を乗じる(※)
- 3 令和5年度 5歳児数 令和4年度の4歳児数
4歳児数 令和元年度の2歳児の人口に就園率を乗じる(※)
3歳児数 令和元年度の1歳児の人口に就園率を乗じる(※)
- 4 令和6年度 5歳児数 令和元年度の2歳児の人口に就園率を乗じる(※)
4歳児数 令和元年度の1歳児の人口に就園率を乗じる(※)
3歳児数 令和元年度の0歳児の人口に就園率を乗じる(※)
- 5 令和7年度 5歳児数 令和元年度の1歳児の人口に就園率を乗じる(※)
4歳児数 令和元年度の0歳児の人口に就園率を乗じる(※)
3歳児数 4歳児と同数

(※)「今後の生駒市立幼稚園のあり方について」評価シートより

なばた幼稚園・壱分幼稚園の施設

なばた幼稚園

	保育室数(使用数R3)
1 保育室	9室(3室)
2 リズム室	1室
3 職員室(兼 保健室)	1室

壱分幼稚園

	保育室数(使用数R3)
1 保育室	11室(4室)
2 リズム室	1室
3 職員室(兼 保健室)	1室

「壱分幼稚園」の施設を「こども園」とした場合の クラス数と受け入れ可能人数(推算)

	認定	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計	合計
クラス数		1	1	1	3	2	2	10	10クラス
受け入れ 可能人数 (人)	1号				30 併せて 60	30 併せて 60	30 併せて 60	90 併せて 180	233
	2号				30	30	30	90	
	3号	9	20	24				53	

(仮称)なばた・壺分こども園

クラス数と受け入れ可能人数

	認定	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計	合計
クラス数		1	1	1	3	2	2	10	10クラス
受け入れ可能人数 (人)	1号				30	30	30	90	233
	2号				30	30	30	90	
	3号	9	20	24				53	

年度	園名	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	
R7 園児数推計 (人)	なばた	9	20	24	16	38	16	16	114
	壺分				22		22	22	

22

22

22

なばた幼稚園

	認定	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計	合計
クラス数		1	1	1	2	1	1	7	7クラス
想定園児数(人)	1号				16	16	16		
	2号				14	14	14		
	3号	6	10	12					

壱分幼稚園

	認定	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計	合計
クラス数		1	1	1	2	2	2	9	9クラス
想定園児数(人)	1号				22	22	22		
	2号				14	14	14		
	3号	6	10	12					

なばた幼稚園

	認定	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計	合計
クラス数		1	1	1	1	1	1	6	6クラス
想定園児数(人)	1号				16	16	16		
	2号								
	3号	6	10	12					

壱分幼稚園

	認定	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計	合計
クラス数		1	1	1	2	1	1	7	7クラス
想定園児数(人)	1号				22	22	22		
	2号								
	3号	6	10	12					

こども園化に向け、必要な施設整備

- 2歳未満の子どもを受け入れるために、
 - ・乳児室又はほふく室を必ず設置
 - 3歳以上の園児と、同じ保育室とするのではなく、2歳児未満用の保育室を準備すること
 - ・トイレ周りの改修
 - ・調乳室

- 調理室の設置

(案)

令和 年 月 日

生駒市教育委員会 様

幼稚園再編に係る地域協議会
(壱分幼稚園区)

再編についての意見書の提出について

このことについて、生駒市教育委員会において策定された「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」(以下「基本的な考え方」という。)を受け、「基本的な考え方」で示された壱分幼稚園の再編の方向性について、幼稚園再編に係る地域協議会(壱分幼稚園区)で協議を行った結果、下記のとおり意見を取りまとめたので提出します。

記

1 協議会発足に至る背景・経緯

市立幼稚園の園児数は近年減少が続き、令和2年度の園児数は平成27年度比で43.6%まで減少し、空き教室も目立つようになりました。園児数の減少により少人数の園では、園児が集団の中で多様な考え方にふれ、試行錯誤する機会が少なくなりやすく、人間関係においても固定化しやすくなる傾向にあると言われてしています。

このような状況の中、生駒市教育委員会は望ましい幼稚園規模を確保し、幼稚園に関する課題に対応するために、令和2年10月に「生駒市立幼稚園のあり方に関する基本的な考え方」(以下「基本的な考え方」という。)に基づき、なばた幼稚園と壱分幼稚園を統合し、こども園化する再編案を示しました。壱分幼稚園再編に係る地域協議会は、この再編案について、保護者や地域としての意見を取りまとめ、生駒市教育委員会に対して意見書を提出するために、保護者や地域の代表により組織されました。

2 壱分幼稚園再編に係る協議会の概要

(1) 目的

生駒市教育委員会が策定した「基本的な考え方」を踏まえ、なばた幼稚園と壱分幼稚園の再編について、保護者・地域としての方向性をとりまとめることを目的としています。

(2) 構成

意見書提出時委員名簿

区分	氏名	所属団体・役職等
学識経験者	森 本 正 一	元学校長
自治会	井ノ上 善 太 郎	壱分町西自治会長
	坂 本 剛 伸	壱分町東自治会長
	中 瀬 讓 次 郎	さつき台自治会長
育友会	大 平 嘉 子	PTA副会長
	前 綾	PTA副会長
学校評議員	宇 高 宗 喜	学校評議員
	板 倉 美 知	学校評議員
	新 町 茂 之	学校評議員
地域	清 水 泰 之	地域住民
老人会	中 嶋 正 秀	老人会

幼稚園	新 土 和 美	吉分幼稚園長
行政	坂 谷 操	教育こども部次長

事務局

生駒市教育委員会事務局教育こども部こども課

(3) 役割

再編案を検討するにあたり、懸念される課題と解決策を検討するため、地域や保護者から意見を聴取してとりまとめ、協議を重ね、生駒市教育委員会に対して意見書を提出します。

(4) 協議会開催経緯

	開催日時	主な協議事項
第1回	令和3年2月3日(水)午後3時	<ul style="list-style-type: none"> ・「基本的な考え方」に対するこれまでの意見と課題整理について ・地域住民からの意見聴取について ・今後のスケジュールについて
第2回	令和3年4月6日(火)午後3時	<ul style="list-style-type: none"> ・原案に対する意見の共有と整理について ・原案に対する追加意見について ・原案に対する意見を踏まえた課題の整理について
第3回	令和3年6月9日(水)午後3時	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園(南こども園)について ・原案に対する追加意見の共有について ・原案に対する意見を踏まえた課題と考えられる対応について

第4回	令和3年7月8日(木)午後3時	<ul style="list-style-type: none"> ・こども園化のシミュレーション ・原案に対する追加意見の共有について ・「幼稚園再編・こども園化についての意見書」について
-----	-----------------	---

3 協議内容

(1) 総意

吉分幼稚園の地域協議会及び地域住民の意見としては、市教育委員会の「**基本的な考え方**」をベースに進め、なばた幼稚園と統合して1日でも早い吉分幼稚園のこども園化の実現を希望します。なばた幼稚園との統合については賛同しますが、結論に時間がかかるのであれば、統合を待たずに吉分幼稚園単独でのこども園化を進めることを求めます。こども園化にあたっては、施設や周辺の道路整備など条件を整えてください。

(2) 協議事項と意見

① こども園化に対する課題と意見

- ・保護者の送迎の際の駐車・駐輪場所について、園庭の利用以外で確保できるよう、小学校前のスペースの活用などを検討し、路上駐車など近隣住民の迷惑にならないよう考慮すること。また、周辺道路の通行規制の見直しなど自治会や関係機関と協議の上、園児だけでなく小学生や地域の安全確保に努めること。
- ・園児数が増えても、職員の適正配置のための職員数を確保すること。
- ・少人数の利点が損なわれないよう努めること。
- ・きめ細やかな関わりができるよう、幅広い募集を行い、職員を適正に配置すること。
- ・園児の増加に伴って園庭が狭くなったり、教室数が足りなくなったりしないように、適切な保育環境が確保される園児数が見込まれる時点での再編を行うこと。
- ・園の行事の日程については、各家庭環境に配慮して不公平のないように対応すること。
- ・こども園化により降園時間に差が生じるため、南こども園や以前の経験を活かし、いじめにつながることをしないよう配慮すること。

② 統合に対する課題と意見

- ・再編により通園バスの運行が必要となった場合は、利用料金の減額や無償化などの公費負担を検討するとともに、その運行経路については、安全を考慮した上で、できる限り利用者の要望に応えること。
- ・保護者の負担軽減や混雑回避のために、時差通園も検討すること。
- ・園が地域とともに子育てをする場であることに配慮し、地域や小学校との交流について、積極的に取り組むとともに、なばた幼稚園の周辺地域とも園外活動などを通じてつながりを持つこと。

③ 移行時期の課題と意見

- ・再編により様々な環境変化が考えられるため、園児が安心して過ごせる環境を整えるとともに、保護者に対して日々の園生活に関する積極的な情報発信や丁寧な相談対応等、必要な心理的支援を行うこと。
- ・在園児は、在籍している園で卒園できるよう対応すること。また、園児募集の際には入園前に十分な説明を行い、保護者の選択により再編まで園児を受け入れること。
- ・移動面や教育・保育面において不利益が生じないよう必要な対応策をこうじること。
- ・環境の変化は最小限にし、現在の幼稚園や保育園と同様に適切な保育教育を継続すること。

④ その他

- ・私立幼稚園の良い部分を取り入れつつ、公立幼稚園独自の特色も発揮できるように園運営に取り組むこと。
- ・幼稚園跡地及び施設の利活用については、市長部局との連携のもと、地域と十分協議した上で、市として総合的に検討すること。
- ・保育園、学童、病児保育施設などの子育て支援につながる施設や運動場、空き教室を利用した子どもや地域の人々が集える場所を検討すること。
- ・近隣の学校や福祉施設等にふさわしい施設の建設、民間事業者の誘致など、あらゆる方向で検討すること。
- ・市民アンケートなどでニーズを的確に把握した上で、市として総合的に検討すること。また、その際は、地域と十分に協議すること。

4 まとめ

壱分幼稚園の地域協議会及び地域住民としては、市教育委員会の「**基本的な考え方**」をベースにして、現在、生駒市の行政課題となっている少子化に伴う就学前児童の減少、及び保育ニーズへの需要の転換、これに伴う待機児童対策を考えると、なばた幼稚園と壱分幼稚園を統合して、1日も早く壱分幼稚園のこども園化を実現することを希望します。また、この再編に賛同しますが、時間がかかるのであれば、再編を待たずに壱分幼稚園単独でのこども園化を進めることを求めます。

再編やこども園化するにあたっては、本協議会で取りまとめた「具体的な方策を実施する際に留意すべきこと」を念頭におき、十分な説明と時間をかけて行ってください。

5 今後の取組への提言について

今回の地域協議会においては、コストを度外視した議論となっています。結論を出すにあたっては、適正な人員をもとに、**再編**してのこども園化やそれぞれでこども園化した場合のコスト（一時経費・運用経費）について算出して比較し、総合的な判断をお願いします。

資料

意見聴取の概要

1 意見聴取の方法

- (1) 吉分幼稚園再編に係る地域協議会参加団体による意見聴取
意見聴取票その他様式による意見聴取

吉分町西自治会 吉分町東自治会 さつき台自治会

- (2) PTA 役員を対象とした市教育委員会（こども課）による説明会

場所：吉分幼稚園

日時：令和3年3月3日（水）9：15～

2 意見聴取の期間

令和3年2月3日（第1回地域協議会）～令和3年7月19日（第4回地域協議会）

3 意見聴取した件数

合計104件

意見聴取票による聴取 95件

その他書面 9件

「幼稚園再編に係る地域協議会」

<https://www.city.ikoma.lg.jp/0000024420.html>